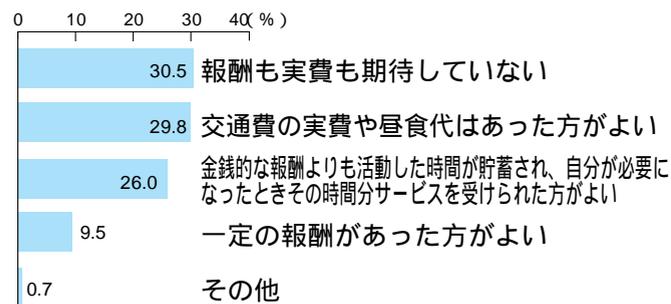


狭山市民意識調査結果

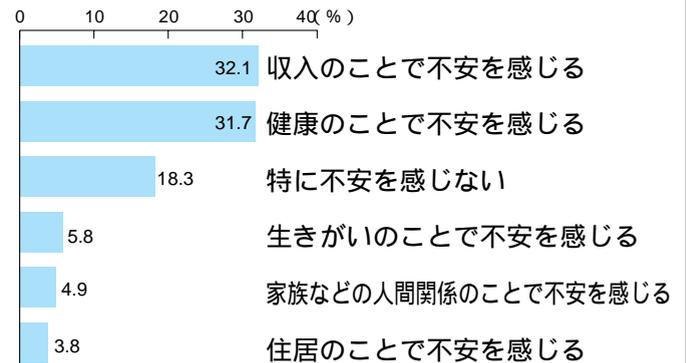
「子どもからお年寄りまで安心して暮らせるまち」が望まれています

本年1月に実施した、狭山市民意識調査の結果がまとまりました。市民の皆さんの身近な生活環境や狭山市のイメージなどに対する意識、市政への要望などについて伺ったものです。調査結果については、今後のまちづくりを進めるための基礎資料として活用していきます。調査にご協力いただいた皆さんに厚くお礼申し上げます。この調査結果の中から、主なものをご紹介します。

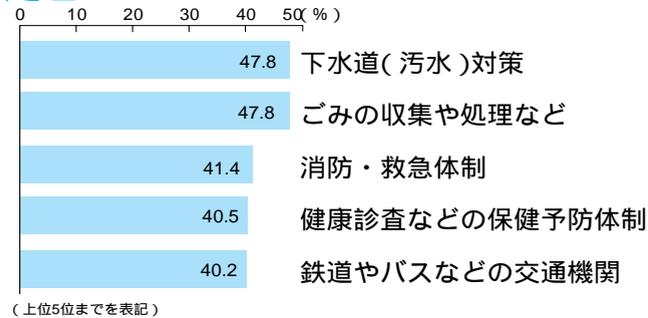
ボランティア活動への費用と報酬について 報酬など期待していない人と交通費・昼食代は実費でという人がともに約3割



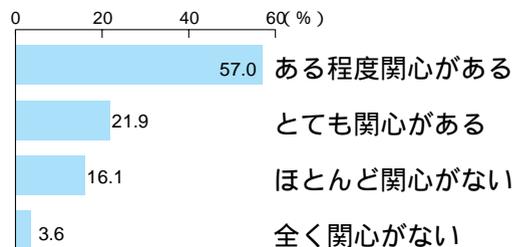
老後の不安について 3人に1人が「収入」か「健康」に不安を感じている



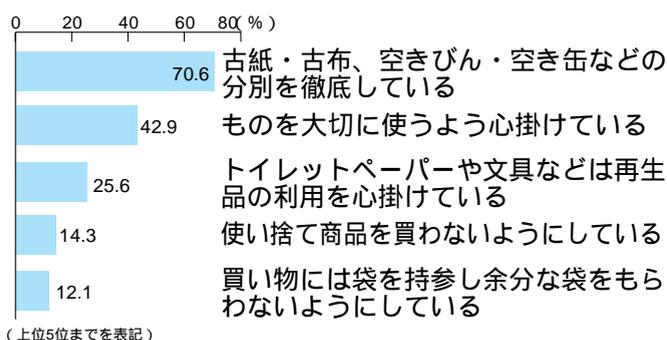
身近な生活環境について 満足度が高いのは、下水道の整備とごみ処理



介護保険制度への関心について 約8割の人が関心をもっている



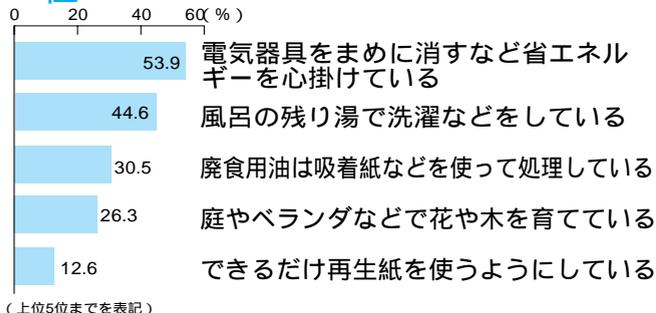
ごみ減量のために心掛けていること 分別の徹底が1位



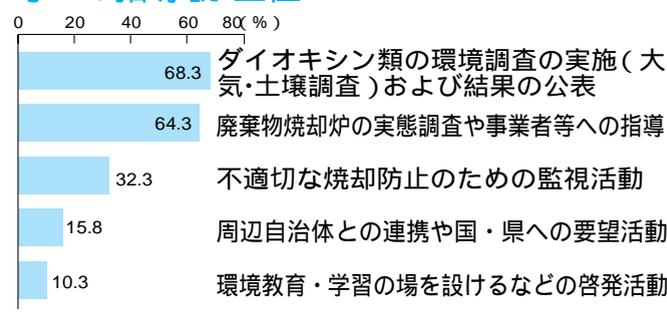
調査概要

調査対象...市内在住の満20歳以上の男女
 調査人数...3千人(住民基本台帳から単純無作為抽出)
 有効回収数...1千884人(62.8%)
 調査方法...郵送による送付回収法
 調査期間...1月18日～2月1日
 回答率はすべて百分率(%)で表し、少数点以下第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100%を前後する場合があります。設問の中には複数回答があるため、比率の合計が100%を上回ることがあります

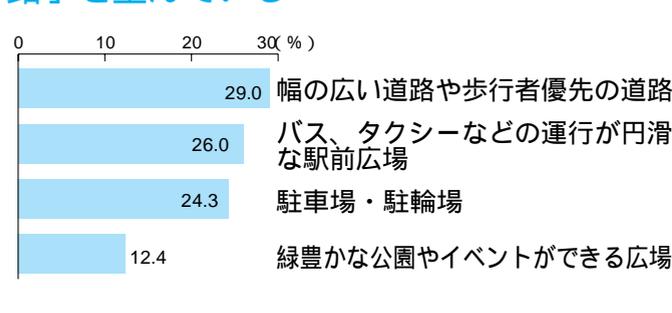
環境改善のために心掛けていること 電気器具をまめに消すなど「省エネ」が1位



ダイオキシン対策で市の取り組みとして重要なもの 「環境調査の実施と結果の公表」「事業者等への指導」が上位



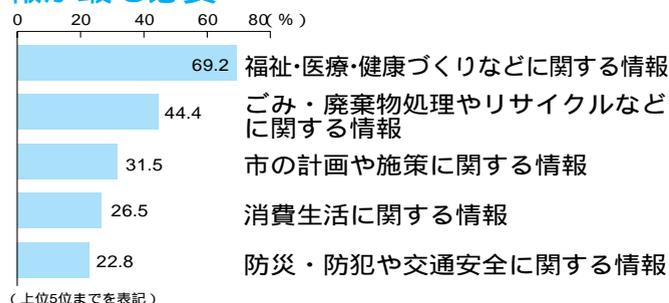
魅力ある駅周辺にするために 約3割の人が「広い道路や歩行者優先道路」を望んでいる



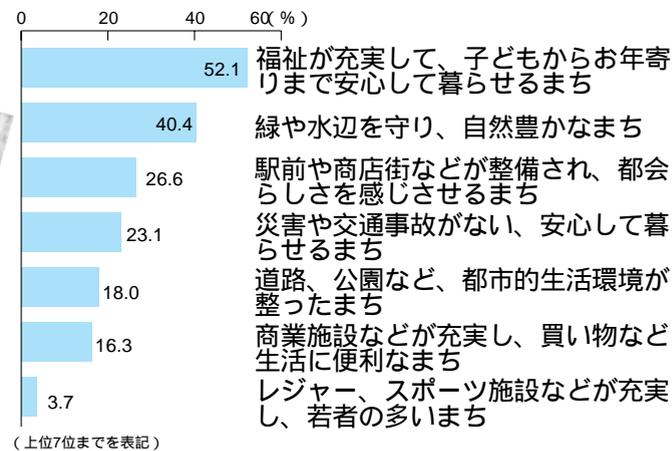
今後力を入れてほしい施策 「駅周辺の総合的な整備」「高齢者福祉の充実」「公害対策の推進」が上位



日常生活に必要な市や地域の情報について 福祉・医療・健康づくりなどに関する情報が最も必要



望ましい市のイメージ 「福祉が充実して子どもからお年寄りまで安心して暮らせるまち」「緑や水辺を守り自然豊かなまち」



報告書が閲覧できます



「狭山市民意識調査報告書」は市役所2階行政資料室、図書館、各出張所・公民館などで閲覧できます。

問い合わせ広報課へ内線7161